

	一般的名称	報告の概要
271	インフルエンザHAワクチン	ベル麻痺の発症は単純ヘルペスウイルス感染後の発症以外にも免疫学的機作による脱髄反応によるとも考えられている。こうした発症メカニズムから考えると、局所に投与されたインフルエンザワクチンのみならず、通常の不活化ワクチンの投与ルートでも発症が認められることが疫学的に示唆された。
272	バルプロ酸ナトリウム	薬剤性過敏症候群drug-induced hypersensitivity syndrome(DIHS)を発症した1例
273	テルミサルタン	A-II受容体拮抗剤(カンデサルタン、ロサルタン、バルサルタン、テルミサルタン)における咳の発現頻度調査を行った結果、これら4剤のインタビューホームまたは企業ホームページにおける咳の発現頻度は0.1~1.9%であり、今回の全データにおける頻度と比較すると10.3~13.52%の開きがある、というものであった。
274	グリセリン	グリセリン浣腸を施行後に急性腎不全を来した1例
275	アセトアミノフェン	飲酒者においては、アセトアミノフェンによる肝障害リスクが上昇する。
276	ウロキナーゼ	脳塞栓症治療に対する治療法の検討を行なったところ、ウロキナーゼ点滴全身投与又は、選択的中大脳動脈内カテーテルからのウロキナーゼ投与を行った群において使用上の注意から予測できない発現率で出血性脳梗塞合併症を引き起こした。
277	インドメタシン	限局性腸管穿孔と索状型小腸閉鎖を併発した超低体重児の1例
278	ブシラミン	ブシラミン内服開始後20日という短期間で薬剤性落葉状天疱瘡が出現した1例
279	アモキシシリン	閉塞性細気管支炎による呼吸機能障害を遺したStevens-Johnson症候群の1例
280	シロスタゾール	Cilostazolで薬剤抵抗性の上室性不整脈を呈した脳梗塞の1例
281	ジクロフェナクナトリウム	NSAIDs投与 によると考えられる多発性横行結腸穿孔の1例
282	プレドニゾロン	プレドニゾロンによる疾病の治療時には、誘発感染症や感染症の増悪が起こり得る。
283	塩酸イリノテカン	塩酸イリノテカン(CPT-11)を含む化学療法を実施した進行性結腸・直腸癌患者において、UGT1A1のTATAbboxの遺伝子多型と「高度な好中球減少」の発現率との間に有意な相関性が認められた。
284	イブプロフェン	NSAIDs内服により急性腎不全を呈した1例
285	デキストラン40・ブドウ糖	頭頸部マイクロサージェリーの皮弁における血栓予防薬として使用した低分子デキストランは、アスピリンに比較して術後合併症の頻度が高く、リスクが大きい。
286	バルプロ酸ナトリウム	バルプロ酸ナトリウム服用妊婦の奇形(口唇口蓋裂)出産の1例
287	乾燥スルホ化人免疫グロブリン	グロブリン大量療法後16日目に肛門手術を行い、その10日目に深部静脈血栓症が発現した。
288	乾燥スルホ化人免疫グロブリン	静注免疫グロブリン療法後に静脈洞血栓症が発現した。
289	乾燥スルホ化人免疫グロブリン	IVIgと副腎皮質ステロイドは血栓症事象に関連する可能性がある。
290	インターフェロン アルファ(BALL-1)	インターフェロン療法後の糖尿病の発症を誘因として生じた後腹膜膿瘍の1例

	一般的名称	報告の概要
291	ケトコナゾール	オールトランスレチノイン酸(ATRA)はケトコナゾール(CYP3A阻害剤)との併用により薬物動態が有意に変化する。
292	塩酸ブソイドエフェドリン	ブソイドエフェドリンを妊娠初期に用いると新生児に腹壁破裂という重大な副作用をもたらす危険性がある。
293	スルピリド	劇症肝炎の回復期にヘルペス脳炎を発病した1例
294	ポビドンヨード	創部消毒のために使用したヨウ素製剤によりヨウ素中毒を来し、意識障害を発現した1例
295	エストロゲン〔結合型〕	結合型エストロゲン製剤によるホルモン補充療法により、静脈血栓症の発現のリスクが高まる。
296	エストロゲン〔結合型〕	閉経後の婦人に対するエストロゲンとプロゲステン併用のホルモン補充療法(HRT)により、静脈血栓症の発現のリスクが高まる。
297	レンチナン	シスプラチンは軽度ながら心筋障害作用があり、その併用はレンチナンの心筋障害を増強すると考えられ、雌は雄よりも拡張型心筋症の発生頻度が低いと考えられた。
298	エストラジオール	静脈血栓症リスクに関し、エストロゲン単独では上昇せずエストロゲン・プロゲステン併用においてのみ上昇することが示唆された。
299	dl-マレイン酸クロルフェニラミン	米国中毒コントロールセンターにおける薬物中毒症例の解析の結果、アセトアミノフェン、フェンタニル、モルヒネ、クロルフェニラミンの中毒による死亡例(大半の症例では自殺)が認められた。
300	コハク酸メチルプレドニゾロンナトリウム	ステロイドパルス療法開始後に急性膵炎を発症したMPO-ANCA関連腎炎の1例
301	フロセミド	ヨークシャー種ブタにおいて、プラセボ群よりフロセミド投与群の方が、左室機能障害を発症するまでの平均時間は早かった。
302	塩酸ゲムシタビン	NSCLC(非小細胞肺癌)に対するドセタキセル・ゲムシタビン療法/ドセタキセル・シスプラチン療法の無作為比較第2相臨床試験において、ドセタキセル・ゲムシタビン併用群に肺毒性が顕著に発現した。
303	エストラジオール	静脈血栓症リスクに関し、エストロゲン単独では上昇せずエストロゲン・プロゲステン併用においてのみ上昇することが示唆された。
304	新ルルAカプセル	薬疹と薬物障害 中毒性表皮壊死症(TEN)型薬疹の1例
305	インフルエンザHAワクチン	インフルエンザワクチン接種後に発症した顕微鏡的多発血管炎の1例
306	臭化水素酸デキストロメトルファン	デキストロメトルファン(DM)とキニジン(Q)の併用投与によりQの常用量の数十分の一量で、DM代謝が強く阻害され、DMの血中濃度とAUCが数十倍に上昇した。
307	新三共胃腸薬	常用量の制酸薬にて発症した重篤なミルク-アルカリ症候群の1例
308	酢酸メドロキシプロゲステロン	ホルモン補充療法は静脈血栓症のリスクを高め、血栓症に影響を及ぼす他の因子のリスクをさらに増大させる。
309	テガフル・ウラシル	大腸癌45例に対して、テガフル・ウラシル、ホリナートカルシウム併用療法施行したところ、1例に重篤な下痢が発現した。
310	インフルエンザHAワクチン	インフルエンザワクチン接種後に発症した顕微鏡的多発血管炎の1例

	一般的名称	報告の概要
311	塩酸プロプラノロール	Brugada症候群における心室細動誘発性に自律神経作用薬が影響を及ぼす。
312	ノルエチステロン・エチニルエストラジオール	Leiden第5因子遺伝子変異を有する女性における経口避妊薬の服用は、静脈血栓症のリスク上昇につながる
313	ホリナートカルシウム	本剤を含む併用療法に関する臨床試験において、本剤との因果関係を否定できない死亡例が報告された。(下痢による死亡例)
314	インフルエンザHAワクチン	インフルエンザワクチン接種後に発症した顕微鏡的多発血管炎の1例
315	乾燥スルホ化人免疫グロブリン	IVIgと副腎皮質ステロイドの併用療法には相乗的な血栓症の危険性が潜む
316	乾燥スルホ化人免疫グロブリン	IVIg治療は深部静脈血栓症の潜在的危険性の存在を示唆し、その危険性は移動性に障害がある患者へのIVIg大量投与でより高くなる。
317	リファンピシン	リファンピシン服用中に急性腎不全を発症した例
318	酢酸メドロキシプロゲステロン	ホルモン補充療法は静脈血栓症のリスクを高め、血栓症に影響を及ぼす他の因子のリスクをさらに増大させる。
319	肺炎球菌ワクチン	肺炎における肺炎球菌陽性率は約40%だった。今回の検討では、肺炎球菌ワクチンは肺炎あるいは肺炎球菌肺炎の予防効果を認めなかった。
320	ヘパリンナトリウム	未分画ヘパリンを使用している人工心臓弁施行した妊娠中婦人にはバルブ血栓症の罹患率が高いとの報告がある。
321	プレドニゾン	ネフローゼ症候群の治療中に発症した肺ノカルジア症の1例
322	コハク酸メチルプレドニゾンナトリウム	急性脊髄損傷に対するメチルプレドニゾン超大量療法は無効かつ有害である。
323	コハク酸メチルプレドニゾンナトリウム	尿道損傷を伴う外傷性骨盤骨折にて入院中MRSA敗血症によって死亡した1例
324	フェノバルビタール	川崎病の経過中にDrug-induced hypersensitivity syndrome (DIHS) の合併が疑われた1例
325	ヘパリンナトリウム	心臓カテーテル直後に血小板減少、紫斑を生じたNoonan症候群の1例
326	テガフル・ギメラシル・オテラシル	ステロイドパルス療法を試みたテガフル白質脳症の1例
327	塩酸ミトキサントロン	ミトキサントロンを使用した臨床試験において、本剤との関連性が完全には否定できない死亡例が報告された。
328	テガフル・ウラシル	術後再発例・根治切除不可能大腸癌に対しテガフル・ウラシル・ホリナート併用療法を行ったところ、1例にアトピー性皮膚疹増強が認められた。
329	ラベプラゾールナトリウム	胃酸分泌抑制剤療法は、市中感染性肺炎の罹患率を高める。
330	フェノバルビタール	フェノバルビタール内服時に発現した薬剤誘発性過敏症候群の1例
331	エトポシド	エトポシドを含む大量化学療法との関連が否定できない聴力障害の1例

	一般的名称	報告の概要
332	ドセタキセル水和物	ドセタキセル・ゲムシタピン併用療法(DG群)で、ドセタキセル・シスプラチン併用療法(DC群)より高頻度の肺障害(間質性肺炎)が見られることが報告された。
333	ラベプラゾールナトリウム	プロトンポンプ阻害剤の使用によりClostridium difficile性下痢の発現リスクが増加する。
334	ニトログリセリン	陳旧性心筋梗塞患者における硝酸薬持続投与は、心事故を増大する。硝酸薬間欠投与は、心事故を増大しないが、心事故の防止効果はない。
335	硫酸バリウム	注腸造影検査に伴う穿孔の例
336	コハク酸メチルプレドニゾロンナトリウム	メチルプレドニゾロンの大量療法がCMV感染を誘発した例
337	ノルエチステロン・エチニルエストラジオール	Leiden第5因子遺伝子変異を有する女性で経口避妊薬を服用した場合静脈血栓塞栓症のリスクが増大する
338	フィブリノゲン加第13因子(2)	無ハプトグロビン血症患者に発現したアナフィラキシーショックの1例
339	カネボウ紫雲膏	アトピー性皮膚炎の自家療法(紫雲膏,プロポリス等)で生じた接触性皮膚の1例
340	塩酸ミトキサントロン	ミトキサントロンを使用した可能性のある臨床試験において、使用薬剤との関連性が完全には否定できない死亡例が報告された。
341	ブスルファン	ブスルファンやメトレキサートを含む併用療法に関する臨床試験において、これらの薬剤との関連性が否定できない死亡例が報告された。
342	ヒトインスリン(遺伝子組換え)	慢性的なインスリン治療は2型糖尿病患者の結腸直腸癌のリスクを有意に増加させる。
343	ミダゾラム	プロポホール投与群では、ミダゾラム投与群に比較して比較的深い鎮静が得られ、吐き気や嘔吐の頻度が減少する一方、血圧低下、血管痛、呼吸抑制やむせの発現頻度が多い。
344	ミダゾラム	CF(大腸内視鏡)検査時に発生した喘息症例の1例
345	ワルファリンカリウム	アルコール中毒の既往がある長期ワルファリン服用者において、抗凝血性イレウスが生じ、空腸血腫を来した例
346	ワルファリンカリウム	人工弁使用者に対するワルファリン投与は血清LDH濃度を上昇させることが示唆された。
347	ランソプラゾール	酸分泌抑制剤(PPIやH2RA)の使用により市中肺炎の発症リスクを増加させる可能性がある。
348	ヘパリンナトリウム	ヘパリン起因性血小板減少症が強く疑われた1例
349	ホスフェストロール	青年期における高用量エストロゲンへの曝露と、後年の妊孕性障害との間には関連性があることを示している。
350	インフルエンザHAワクチン	インフルエンザワクチン接種後、多発性単神経炎として出現し、血管炎と生検で認められた血管炎性ニューロパシーの1例
351	乾燥細胞培養痘そうワクチン	天然痘、炭疽病、破傷風の三種の予防接種を受けた20日後に多形性紅斑を発現し、スティーブンス・ジョンソン症候群へと進行した1例

	一般的名称	報告の概要
352	ブスルファン	ブスルファン及びシクロホスファミドを前処置とした同種骨髄移植後の、成人白血病患者における死亡率および非再発死亡率をみた試験で、死亡率および非再発死亡率は、ブスルファンの経口剤よりブスルファンの静注の方が低かった。
353	ブスルファン	台湾退役軍人一般病院における骨髄機能非破壊骨髄細胞移植において、4ヵ月から54ヵ月の観察期間中に5名の患者が死亡し、そのうち1例はCMVを伴う高度GVHDで死亡した。
354	メトトレキサート	メトトレキサート(MTX)大量療法時の消化器障害の軽減を目的に併用されるオメプラゾール(OPZ)には、MTXの排泄遅延作用が報告されており、今回検討した同系統のラベプラゾール(RPZ)もMTXの排泄を遅延させる。
355	塩酸メキシレチン	塩酸メキシレチンによるSJSの1例
356	ゼラチン	骨盤骨折による出血のためゼラチンスポンジによる塞栓術を施行した。その後、臀部を中心に皮膚壊死をきたし、さらに右下腎動脈に仮性動脈瘤を認めた。
357	経腸成分栄養剤(2)	胃ろう造設患者に対する経腸栄養剤固形化投与時に発現した下痢の1例
358	オメプラゾール	胃酸分泌抑制剤の使用により市中感染性肺炎の発現リスクが増加する。
359	バルプロ酸ナトリウム	バルプロ酸暴露群は非暴露群や他の単剤暴露群と比較して、平均の言語性知能指数が有意に低く、用量依存性もみられ、バルプロ酸の関与が示唆される。
360	オメプラゾール	胃酸分泌抑制剤の使用により市中感染性肺炎の発現リスクが増加する。
361	テオフィリン	テオフィリン服用中に精神症状を伴う脳波異常を来した1例
362	シロスタゾール	シロスタゾール服用中にQT延長をきたしtorsade de pointesを認めた例
363	ブスルファン	HLA一致同種からの造血細胞移植後の処置としての骨髄機能非破壊と骨髄機能破壊の死亡率を比較した試験で、骨髄機能非破壊の方が死亡率が低かったとの報告の中で、移植に関連してブスルファン、メトトレキサートが使用されていた。
364	ブスルファン	危険性の高い急性骨髄性白血病における高用量CD34+細胞を用いた層別の新たな投与方法(ブスルファンを含む)によるハプロタイプHLA不一致移植の試験で免疫の回復遅延に関連した重篤な感染症により死亡した症例がみられた。
365	塩酸チアプリド	老年期うつ病でけいれん発作を起こした1例
366	アルプロスタジル	心室中隔欠損症(VSD)、肺動脈閉鎖(PA)の治療において、プロスタグランジンE1長期投与による肺障害が生じた。
367	ロキソプロフェンナトリウム	間質性腎炎によりacute on chronic の腎不全を呈した糖尿病男性患者の1例
368	デキサメタゾン	デキサメタゾンを含む化学療法を行った結果、grade3-4のイレウス、心膜炎、ビリルビン上昇、トランスアミナーゼ上昇及び肺炎が認められている。
369	プレドニゾン	プレドニゾンを含む免疫抑制療法を行った結果、急性腎不全が認められている。
370	イブプロフェン	アスピリンとの併用により非致死性心筋梗塞初発リスクの上昇する恐れがある。

	一般的名称	報告の概要
371	ヒトインスリン(遺伝子組換え)	慢性的なインスリン治療は2型糖尿病患者の結腸直腸癌のリスクを有意に増加させる。
372	フシジン酸ナトリウム	フシジン酸を使用した治療中に鉄芽球性貧血を発症した例
373	BCG膀胱内用	両側性急性の前部ぶどう膜炎と診断された1例
374	ヘパリンナトリウム	コントロール良好の糖尿病合併妊婦が妊娠末期に著しい高脂血症を発症し、帝王切開術中に肺塞栓症を疑わせるような臨床症状を呈し、術中のヘパリン投与が原因と思われる、出血量の上昇を認めた。
375	クエン酸タモキシフェン	タモキシフェン療法後に発症した子宮癌肉腫の例
376	クエン酸タモキシフェン	タモキシフェン投与後に認められた子宮体癌の例
377	ケトコナゾール	ケトコナゾール(CYP3A4阻害剤)との併用によりイマチニブの代謝が阻害されイマチニブの血中濃度が上昇する。
378	インフルエンザHAワクチン	インフルエンザワクチン接種後に生じた辺縁系脳炎の1例
379	インフルエンザHAワクチン	インフルエンザワクチン接種後重篤な血管炎性ニューロパシーを発現した例
380	リバビリン	リバビリン投与による生殖障害及び先天異常の例
381	アルテプララーゼ(遺伝子組換え)	ラットを用いたin vivoの実験において、組織プラスミノゲンアクチベータ(tPA)の直接的なneurotoxicityが認められた。
382	酢酸メドロキシプロゲステロン	酢酸メドロキシプロゲステロンアセテートのデポー剤(DMPA:酢酸メドロキシプロゲステロンアセテートの筋注製剤)群の尿路感染症(UTI)の発生頻度は対照群と比較して高かった。
383	エチドロン酸二ナトリウム	ラットを用いたin vivoの実験において、ビスホスホネート製剤で筋障害が認められた。
384	酢酸メドロキシプロゲステロン	酢酸メドロキシプロゲステロンアセテートのデポー剤(DMPA:酢酸メドロキシプロゲステロンアセテートの筋注製剤)群の尿路感染症(UTI)の発生頻度は対照群と比較して高かった。
385	ロキソプロフェンナトリウム	ロキソプロフェンナトリウムによると考えられる急性間質性腎炎を来した1例
386	ジクロフェナクナトリウム	ジクロフェナクの肝毒性および代謝が、P450 3A活性の増加に従い亢進された。
387	アテノロール	シロスタゾールとアテノロールを併用していた患者において手術のためシロスタゾールを中止したところ、Sinus node dysfunction(洞結節機能障害)が発現し、心停止および徐脈を引き起こした1例
388	グリチルリチン・DL-メチオニン配合剤	グリチルリチンの投与により低カリウム血症を発現し、その後偽性バーター症候群となり慢性腎不全に至った1例
389	硫酸バリウム	注腸造影検査に伴う穿孔の1例
390	硫酸バリウム	注腸造影検査に伴う穿孔の1例
391	乾燥スルホ化人免疫グロブリン	輸血開始から約20分後、IVIg投与終了から約3時間後に心筋梗塞を発現した。

	一般的名称	報告の概要
392	ビタミンE剤	ビタミンEを1日400IU(267mgに相当)用量以上の摂取した場合、最長約8年の追跡期間中の死亡率がプラセボと比べて高い。
393	ゲフィチニブ	ラットを用いたゲフィチニブ104週投与癌原性試験において、肝臓良性腫瘍と腸間膜リンパ節血管肉腫の発生頻度が増加した。
394	クエン酸クロミフェン	不妊治療(クロミフェン-HMG療法)中に発症した卵巣小細胞癌(大細胞亜型)の1例
395	コハク酸メチルプレドニゾンナトリウム	好酸球増加を伴う間質性肺炎を併発し、ステロイドによる治療が著効するも減量中に急激な悪化を認めた骨髄異形成症候群(MDS)の1例
396	テガフル	乳癌術前後の脂質レベルの変動を検討したところ、テガフルを含むフッ化ピリミジン群において血清脂質の上昇が認められた。
397	ミダゾラム	ドルミカムによる重篤な副作用(SpO2低下)の例
398	ミダゾラム	鎮静を用いた上部消化管検査にて覚醒不十分の為入院となった例
399	アルテプララーゼ(遺伝子組換え)	ラットを用いたin vivoの実験において、組織プラスミノゲンアクチベータ(tPA)の直接的なneurotoxicityが認められた。
400	アスピリン	アスピリンとアルコールの併用により消化管出血リスクが上昇する。
401	アスピリン	異型狭心症患者で、アスピリン服用により冠血管攣縮が悪化する。
402	アスピリン	アスピリンとカプトプリルの併用によりカプトプリルの降圧効果が減弱した。
403	ペグイントロン	ペグインターフェロン投与による非呼吸器感染のリスクの増強がC型肝炎患者において観察された。
404	ペグイントロン	肝移植後のPEG-Interferon α -2b及びRibavirin併用投与群での肝動脈狭窄発現が、インターフェロン未治療群又は、非PEG修飾インターフェロン(IFN)及びRibavirin併用投与群より高かった。
405	染毛剤(パラフェニレンジアミン、オルトアミノフェノール、メタアミノフェノール、パラアミノフェノール、メタフェニレンジアミン、過ホウ酸Na(1水和物))	1980年以前に染毛剤の使用を開始した女性の間で非ホジキンリンパ腫のリスク増加がみられた。
406	コウジ酸	コウジ酸は腫瘍プロモート活性と肝発ガンの誘発に影響を及ぼすことが示唆された。
407	コウジ酸	コウジ酸をラットに20週間投与した結果、肝に対して弱いながら発がん性を示し、発ガんに肝障害の関与する可能性のあることが示唆された。
408	染毛剤	染毛剤中のp-phenylenylenediamineによるアレルギー性接触皮膚炎の1例
409	染毛剤	染毛剤でアレルギー症状を起こし、その後、胸水や全身浮腫を生じた1例
410	滋養強壮剤	本剤服用後、上肢、下肢及び口腔内に水泡が発現した。
411	乾燥弱毒生麻しんワクチン	BSEのブタに対する感染性について経口感染の可能性は否定できないものの、臨床的・病理学的検査およびマウスを用いた生物検定では経口による感染を確認できなかった。

	一般的名称	報告の概要
412	乾燥弱毒生麻疹ワクチン	H5N1型トリインフルエンザウイルスの再流行と病原性の増強について
413	人全血液	英国から輸血を介したvCJD伝播の可能性がある2例目の症例が報告された。患者のプリオン遺伝子型は129番目のコドンがヘテロ接合型(MV型)であった。
414	ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン	英国のコンサルタント会社DNVが英国保健省からの委託で作成した、vCJD発症者からの血液及び血液製剤のレシピエントの特定とリスク評価等の報告
415	乾燥弱毒生麻疹ワクチン	ウシ血清使用水痘ワクチンよりウシポリオーマウイルスが検出された。
416	コレラワクチン	国内BSE感染死亡牛で特定危険部位以外より異常プリオンが検出された。